



未来のためのスロー

cittaslow Maebashi-Akagi

笑顔になれる空間を

山のふもとのレストランCau屋
鈴木 智康さん・章子さん
前橋市富士見町



片品川の丸沼高原でペンション「石窯カフェと宿Cau(く)屋」を営んでいた2人が、古里である首都圏に近く、自然にも恵まれた環境を求めて赤城南麓に移住。2年前に手作りパンをメインにした食堂「Cau屋」としてリニューアルオープンした。片品時代のなじみの客や口コミで店の評判が広がり、付近は想像以上にぎやかになったが、周りの人々は温かく見守ってくれた。「散歩の途中

移住

野菜を届けてくれたり、それをパンと交換したり。人に恵まれて、ここを選んでよかった」と感謝する。一人でも多くの人に喜びを届けるため、2人は「スローな暮らし」を追い求める。



自然通じて地域愛育む

「AKAGI PIG-OUT CAMP」運営
林 智浩さん
前橋市三夜沢町

みやぎ千本松の森(前橋市苗ヶ島町)で行われるキャンプイベント「AKAGI PIG-OUT CAMP」は、林さんを中心に、「赤城山を魅力的な観光地」との思いを持つ飲食店や事業者が企画。2019年の初開催の際は、近隣や都内から多くの来場者でにぎわった。赤

城山のスローシティとしての潜在力に可能性を感じており、来年の開催にも意欲的だ。山頂の観光資源を生かした企画も進む。「地域愛を育むには、若い世代が地域に誇りを持てる体験が大事」。その気持が観光振興につながるかと信じている。

農作業小屋に癒やしの空間

コーヒー豆焙煎
a day a time
Coffee Roaster
前橋市柏倉町

無骨な農作業小屋の片隅にやわらかな明かりがともり、コーヒーの香りがたふよ。夫婦2人が週末を中心に営業している、自家焙煎コーヒー専門店だ。「a day a time」は「one day at a time(1日1日を大切に生きる)」をもじった造語で、「せわしない日々の中、コーヒーをいれてほっとする時間を提供したい」という願いが込められている。

気軽にキャンプ楽しんで

赤城山オートキャンプ場
小堀 智久さん
前橋市三夜沢町



世はキャンプブーム。ソロキャンプや、快適で便利なグランピングなど楽しみ方が多様化する一方で、設営や片付けなどで「自然の中でゆっくり過ごす」ことができず、キャンプに疲れてしまう人も。より多くの人に気軽に楽しんでもらおうと、手ぶらで訪れても本格的な道具を使ってキャンプやたき火を体験できる「キャンプグランピング」を提案。新たなキャンプフィールド「Akagi LogINN(ログイン)

グランピング」の準備を進めている。「市街地から1時間かからない場所。ぜひ市民の方に赤城の自然を満喫してほしい」と力を込める。

大沼から魅力発信

TREKKER'S CAFE
関口 研一さん
前橋市富士見町赤城山



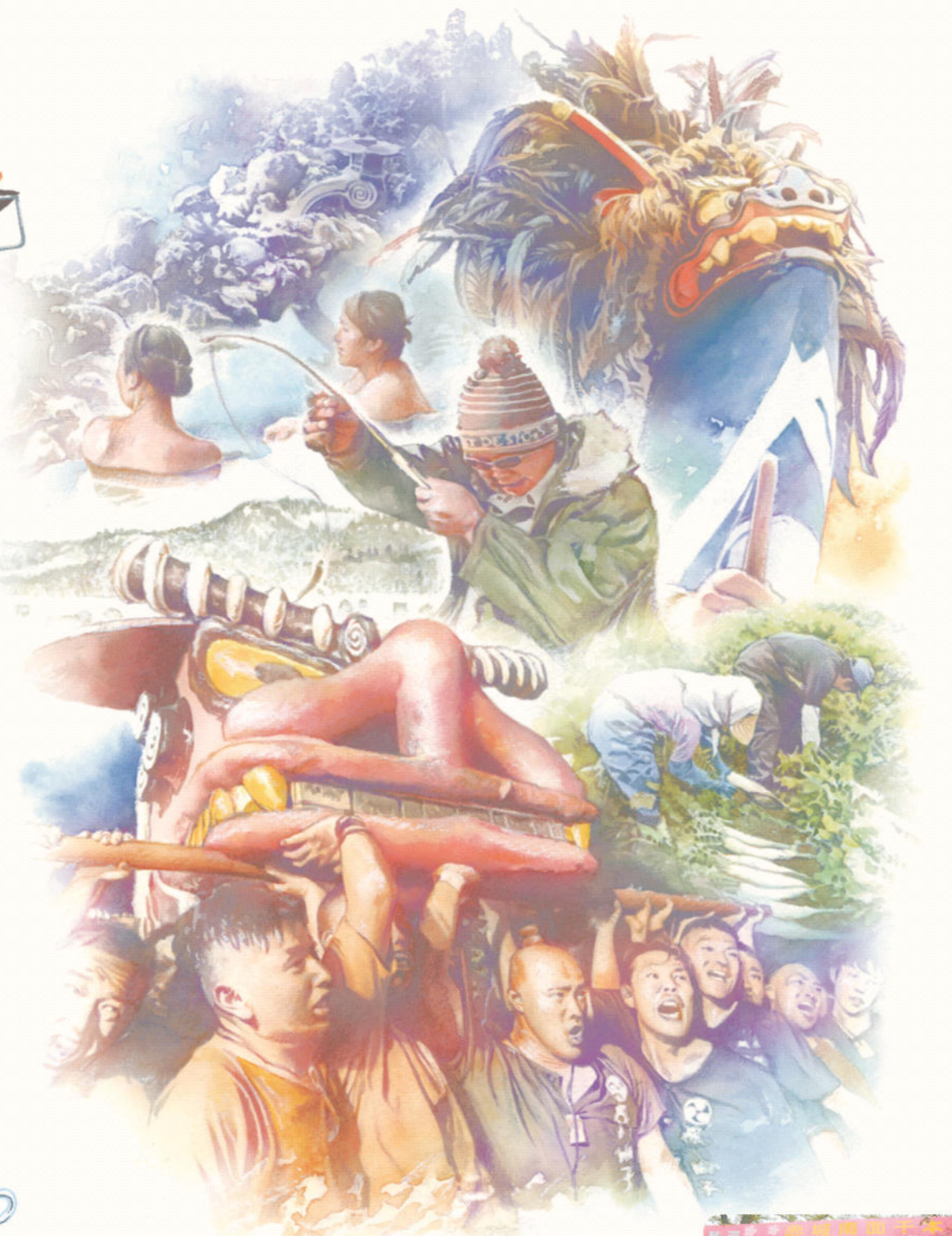
赤城大沼の湖面を渡る風に吹かれながら、焼きたてのピザやコーヒーを味わい、ゆったりと過ごせる。オーナーシェフとして、そんなカフェを切り盛りしつつ、赤城山ガイド協会公認ガイドとしても活動する。登山を始めたのは10年ほど前。たちまち夢中になり、子どもの頃から見ていた赤城山に足向けようになった。「下山後にくつろげる場所があれば」と思い立ち、2017年にカフェをオープン。これをきっかけに、

赤城山愛、はより深まったという。「秘境」を目指すツアーなど、赤城山の魅力を多くの人に知ってほしいとアイデアを練る。「一年を通して、丸一日遊べる場所。登山だけでなく、いろんなアクティビティを楽しめる。どんどん発信したい」※11月から冬季休業中

トレランでにぎわいを

前橋市まちづくり公社
酒井 サムさん
前橋市富士見町赤城山

赤城山でトレランニングのレースイベント開催を目指す。世界で活躍するアロランナーを招いた講座や、山のマナーの周知を通じて、イベントが地元で受け入れられる土壌づくりに取り組む。千葉県出身で、東京、沖縄を経て前橋に移住。



赤城山を自転車の聖地に

NPO法人 赤城自然塾
島島 伸安さん
前橋市堀崎町(大胡支所内)

赤城山を囲む前橋、桐生、沼田、渋川、みどり、昭和を一周するサイクルツーリズム事業を手掛ける。初級から上級者まで楽しめるコースを設定し、各種イベントと連動させながら赤城山の魅力を発信していく。サイクリングコースや空気入れなど

を備えた休憩スポット「あかぎサイクルオアシス」を設置した。「自然の中いけると人間らしさを取り戻せる。前橋はちよと足を伸ばすだけで、それができる場所」と語り、自転車だけでなくさまざまな多彩なまちづくりに思いをはせる。

赤城の「ストーリー」発信

前橋赤城スローシティプロジェクト
大胡 ベース
前橋市河原沢町

初秋の大胡古民家、通称「大胡ベース」に学生たちの歓声が響く。前橋赤城スローシティエリアの活性化に取り組む、共愛学園前橋国際大の鈴木鉄志ゼミの3年生12人だ。築75年の趣あふれる建物を地域おこしに生かそうと、地域と共同で活用案を模索している。この日は古民家を管理する荒木光枝さんとともに、



薪ストーブに火を起し、栗おこわと豚汁を作った。今後、ホームページや動画制作を通じてPRする予定で、ゼミ長の草光うららさんは「スローな体験は単純に楽しい。長期的に活動し、関係人口を広げていきたい」と意

海なし県で最高の魚介料理

我家
武藤 裕司さん・明美さん
前橋市柏川町込登戸

子どもをのびのび育てられる環境を求め、東京から移住。2月には、自宅敷地内に和洋風懐石料理店「我家」を開店した。淡路島から直送される旬の魚や自家農園の野菜を使い、裕司さんが「海なし県で



最高の魚介料理」と腕を振る創作料理が評判を呼んでいる。店の和室から赤城山を望めるのも自慢の一つだ。移住コンシェルジュの鈴木正知さ

んと出会い、「人と人とのつながりが楽しくなり、ここに決めた。農作業や大工仕事を、周囲の人が教えてくれるのもうれしい。「来てよかった」という言葉に、実感がこもる。

安全安心な野菜届ける

ワタナベファーム・ひろ味工房
渡邊 初夫さん・博美さん・和典さん
前橋市柏川町深津

50歳を過ぎて新規就農した初夫さんと博美さんが、仲間とバブハウスを手作りして始めた農園。長男の和典さんも加わり、ハウスを建設したばかりの2014年2月、県内を襲った歴史的豪雪で全てを失うが、「立ち直る姿を子どもたちに見せよう」と立ち上がった。年間



約70種類の野菜・果物を生産する。野菜ソムリエの博美さんは、「ひろ味工房」ブランドでジャムやジュースなど農園の野菜を使った加工品を展開、全国に安全安心を届けている。



赤城が育む手作りチーズ

チーズ工房 Three brown / 松島 農園
松島 俊樹さん・薫さん
前橋市柏川町中ノ沢

前橋の街を眼下に望む山腹で、牛がのんびりと草をはむ。店頭にはフレッシュな「モッツアレラ」、きんちゃく型の「カチョカバロ」など多彩なチーズが並ぶ。「牛を飼ってチーズを手作りしたい」という夢を赤城南麓でかえした松島夫妻。数多の困難を

乗り越え、20年かけて販売にこぎつけたが、夢が実現した喜びは思っていたのと少し違った。「お客さまの満足こそが、自分たちの幸せだと気付いた」。顔の見える販売にこだわり、顧客の声を活かに日々進化を続ける。



クラブとのときめく出会い

赤城南麓クラブフェア
実行委員長
遠藤 正美さん
前橋市富士見町時沢

若手や東京からもクラブ作家が一堂に会する「赤城南麓クラブフェア」の実行委員長を務める。自身も彫刻家であり、新型コロナウイルスの影響でクラブ展の中止が相次ぐ中、感



策を行った上で楽しんでもらうと地元への仲間たちと企画した。今年はゴールデンウィークと11月に行った。「3万人が集まるような大きなイベントにしたい」と意気込む。

赤城で生まれた葉物野菜

宮内 菜
宮内 禎一さん・加代子さん
前橋市小神町

前橋市の芳賀地区発祥で、甘く、くせのない味が人気で今や全国で栽培されているカキナの一つ「宮内菜」。昭和30年代、米麦中心だった同地区の冬から春にかけての農業収入を増やすため、宮内さんが試行錯誤の末、さらに生み出した。「交雑しやすいので、ハ

ウスを使った花の時期をずらしたりして苦労した。収穫された葉っぱは、味の良さはもちろん、見た目の美しさでも市場で目立ち、引っ張りだこになったという。収穫時期は3~5月だが、1月から収穫できる早生種も誕生。さらに愛される野菜に育っている。

あなたのスマホが群馬銀行に! いつでも どこでも 簡単便利!!

スマートフォンのサービスのご案内(利用料無料)

群馬銀行アプリ
インターネット支店
群馬銀行のかんたん通帳

群馬銀行アプリなら、運転免許証をスマートフォンで撮影し、必要事項を入力いただくだけで、インターネット支店の口座も一発簡単に開設できます。24時間お申込みいただけます。

インターネット支店 口座お申込みの流れ

群馬銀行アプリにてお申し込みを完了し、本人確認資料を撮影いただき、アプリで申込みが完了OK!

申請内容、書類の登録後、受付結果をメールでお知らせいたします。

カードが届きます
ICキャッシュカードとインターネットバンキングの両方を同時に発行いたします。

約1週間後にご自宅へ届きます。

App Store
Google Play

お問い合わせ先 群馬銀行ダイレクトセンター
0120-13-9138
受付時間 9:00~20:00(土・日・祭日、12/31~1/3は除く)

スローシティである前橋市・気仙沼市・オルビエート市から集まった437点のオレンジ写真をモザイクアートに!

cittaslow Maebashi-Akagi

詳しくはこちら
スローシティ
オレンジ写真コンテストHP

前橋市の魅力を発信中
フォローはこちら

前橋市観光局 Instagram @maebashi_trip
前橋市観光局 Facebook /maebashi_city
前橋市観光局 Twitter @maebashi_city

地域協力 応援キャンペーン「くま愛2021」協賛社

アイエー信用金庫	AUTO NEXUS	赤城自然園	あかぎ信用組合	あすかホール	系井HD 雑	カネコ種殖株式会社	北群馬信用金庫	共愛学園	
桐生信用金庫	桐生第一高等学校	KIRIN	KUSATSU ONSEN	New Resort Hotel	フジのマルエ	CLIMB CLIMB CO.,LTD.	群馬銀行	一般社団法人群馬県住宅協会	
群馬県信用組合	群馬タイハツ	群馬トヨペット	群馬ナフコ	Yakult	佐田建設株式会社	SUNWA	JAグループ群馬	JESCO SUGAYA株式会社	しのめい信用金庫
住宅金融支援機構	上毛共済	株式会社スナガ	琴電電機	一生涯のパートナー	高崎信用金庫	高崎ターミナルビル株式会社	JAグループ群馬	JESCO SUGAYA株式会社	しのめい信用金庫
村根郷信用金庫	トヨタレンタリース群馬	AF ナルセグループ	日産サティオ群馬	日産プリンス群馬	株式会社日本キャンパック	JFC 日本政策金融公庫	日本生命	ネットショップ群馬	はるる
富士スバル	冬木工業	プリエッセ	PRIOR HOLDINGS	Primavera	北海道電力株式会社	三電電機	明和県央高等学校	紫目崎鉄工	メモリー
めつ美結野	ヤマト	国ようざん	株式会社ライフシステム	らん藤岡	連合群馬	地域協力 応援キャンペーン「くま愛2021」	「くま愛」は、地域の課題をともに考え、地域の魅力を発信するお手伝いをするキャンペーンです。上毛新聞社は、県内自治体と協賛企業・団体の協力を得て2016年から「くま愛」を展開しています。		